

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」 ・オンラインによるバスケットコーチング



【取組内容①】

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト「B.LEAGUE Hope (B.Hope) の離島児童支援の一環として本校が選ばれた。

民間企業と地元バスケットボールチームのご協力を得ながら、「練習のモチベーションを得る」「プロの指導を受ける」といった機会を提供し、同じ境遇の子どもたちの環境改善のきっかけになることを目指した取り組みに本校が参加することが決定し、専門的な指導が受けられる機会を得た。

同校バスケット部員たちは、民間企業の情報技術を用いながら、地元バスケットボールチームのプロコーチ陣の指導の下、バスケットスキルの向上に励んだ。10月から開始した自主練習フェーズからスキルズチャレンジタイムアタックやAIを活用したスポーツ練習アプリを利用してチーム内練習を行い、コーチングフェーズでは練習時の動画を担当コーチに送付⇔添削をし合い、フォームの確認・動き・目線など丁寧な指導を受けることができた。

最終的に、オールスター (B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2024 IN OKINAWA)本番前に、スキルズチャレンジに選ばれた本校の選手が参加、沖縄市の沖縄アリーナにて同コートで披露することが可能となった。

島内だけの教育資源には限界があり、今後もオンラインで専門家を招聘したり、専門的な指導が得られる機会を模索しながら、様々な学びに触れさせていきたい。

